

OWNER'S LIFE

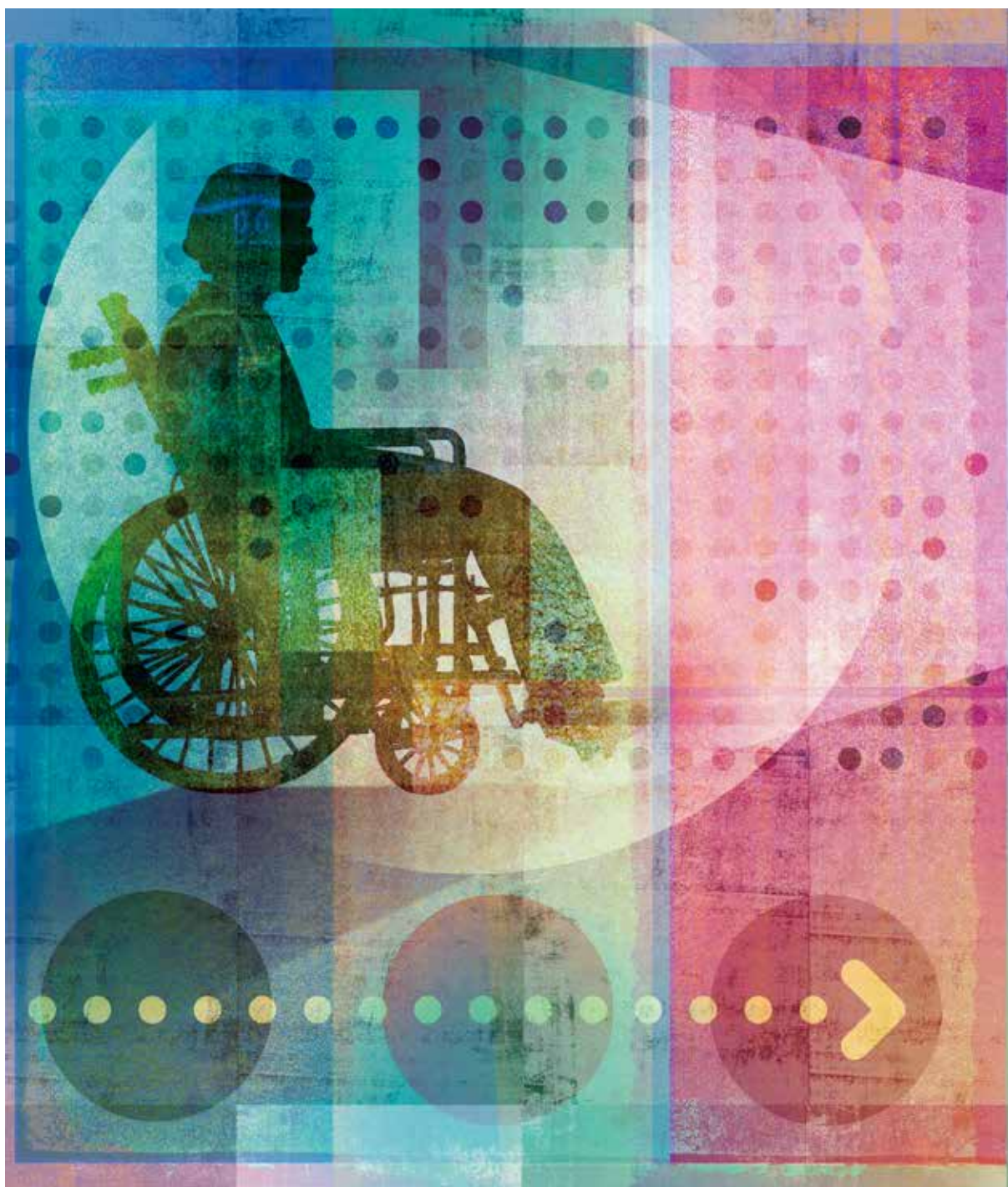
発行: エヌピー通信社 電話: 03-6263-2093(代表) 日本新聞協会/日本記者クラブ/国税庁記者クラブ/国会記者会 会員社

www.owners-life.com

オーナーズライフ ドクターズエディション

DOCTOR'S EDITION

vol. **58** 2021 July



もはや長生きは悪？

高齢者医療費

「2割負担」へ

年収200万円が〆余裕層？

75歳以上の医療費窓口負担を2割に引き上げる法改正が進んでいる。団塊の世代が来年から後期高齢者となることで医療費の増大が想定されるなか、能力に応じた負担への見直しを進めるという。負担軽減となる現役世代からは一定の支持もみられるが、高齢層からの反発は当然ながら強い。法改正は今後の社会保障のあり方を左右しそうだ。

75歳以上の医療費窓口負担は「現役並み」とされる収入383万円(世帯収入520万円)以上の人を除き、基本的に1割とされている。法改正により創設されるのは、単身で年収200万円以上、複数人世帯で320万円以上の負担を2割とする枠だ。75歳以上の高齢者の20%超を占める約370万人を対象に見込んでいる。

この負担引き上げによって、現役世代の負担が2022年度時点で約720億円軽減すると試算する。新卒の線引きについて田村厚生労働大臣は、「年収200万円の世帯は年12万円の余裕がある」と衆院予算委員会で理解を求めた。年収200万円の単身世帯の平均支出は188万円であるため「黒字」だという厚労省の推計によるものだ。

ただ、年金も減らされ続け、病気などの様々な事情を抱える多くの高齢者世帯の収入を単に「平均」で推し量ることに疑問の声も

エヌピー通信社「オーナーズライフ」と日経電子版連動掲載特集です。

新築分譲マンション&戸建てセレクション

2021 夏

https://ps.nikkei.co.jp/map_2021summer/

負担していたものを35%に引き下げ、その分を現役世代に肩代わりさせるとともに、高齢者自身の負担にも転嫁する仕組みで始まったものだ。国庫負担(公助)を減らし、現役世代に肩代わり(共助)させ、そして高齢者自身に負担(自助)を押し付けるという流れが、さらに加速しようとしている。

多い。年収200万円を「余裕層」とみるのは世間的にも無理があるのは確かであり、それだけでなく収入200万円以上の「余裕層」の窓口負担を倍増させることで見込まれる6900万人に及ぶ現役世代の負担減は微々たるものに過ぎない。

2割への引き上げは22年10月から23年3月までの間で実施される。施行後は窓口負担の増加額が月3000円に収まるよう軽減措置が導入されるというが、それもわずか3年で打ち切られる。

そもそも後期高齢者医療制度は、高齢者の医療費のうち45%を国庫

OWNER'S LIFE
特集

国税当局

「分析」から実際の「調査」へ

ここでも富裕層がターゲット 海外資産が丸裸にされる!?

富裕層が持つ海外資産への国税当局の取り組みが、いよいよ「情報収集」から「分析」を経て「調査」へと着実に移行しつつある。このほど国税庁が発表したデータからも、税務調査で富裕層の海外資産が効率的に狙い撃ちされている実情が明らかとなっている。コロナ禍により調査件数の数を稼げないなかで、当局のこうした動きは今後さらに強まるものとみられる。

86の国・地域から 200万件を超える情報

国税庁と海外税務当局との情報交換ネットワークの強化が着々と進められている。国税庁では海外の税務当局と金融口座情報を交換するCRS（共通報告基準）により、世界中から膨大な量の邦人の口座情報を入手している。

2018年に日本が参加したCRSは、国内の金融機関に開

設された相手国居住者の口座情報を、年に一回、自動的に交換するという仕組みだ。例えば日本の銀行に口座を開設した非居住者の情報については国税庁が当該国へ提供し、逆に日本人が海外に開設した銀行口座の情報は、その国から国税庁に送られてくることになる。

発表された2019事務年度のデータは制度2年目に当たり、日本の居住者が海外に持つ金融口座情報を86の国・地域から200万件超入手した。前年から相手国・地域が12増え、情報件数は約75万件から3倍近くに増加している。これは初年度となる前年が口座残高1億円以上の「高額口座」のみを対象としていたため、2年目はそれ以下の残高の口座にまで入手対象を広げたことが理由だ。

口座残高にかかわらず 実態が把握される

今年1月時点で、CRSには106の国・地域が参加し、今後さらに55の国・地域が参加する予定となっている。交換先には英領バージン諸島、ケイマン諸島、シンガポールなど資産フ

ライト先として有名な地域も多く含まれ、これらの地域にある海外資産は、口座残高の大小に



かわらず、すべて国税当局に筒抜けとなる。

一方、交換件数が伸びたCRSとは対照的に、件数を減らしているのが各国税務当局による自発的情報交換や、要請に基づく情報交換だ。両者とも日本の税務当局に寄せられる情報の数は右肩上がりで増えてきたが、19事務年度はそれぞれ5年ぶりに前年比マイナスとなった。

だがこれは、海外資産に対す

報交換」の件数は19事務年度も増加を示している。

前年比でプラスとなった法定調書情報とCRSに共通するのは、当局が何らかのアクションを起こさずとも自動的に情報が入ってくるという点だ。こうした情報交換の仕組みについて、国税庁の可部哲生長官は「海外にある金融資産とそこから生じる所得の把握に大変効果的」と評価した上で、「別途徴

る監視の目が緩んだことを意味するものではない。むしろ、要請によらずともデータが入手できる仕組みが確立されたことの裏付けだろう。その証拠に、海外で利子、配当、不動産賃借料、知的財産などの使用料、給与、報酬、株式のキャピタルゲインなどの収入があった場合に法定調書が一括して提供される「法定調書情報の自動的情

全国税局でプロジェクト もはや「ガラス張り」?

国税庁が昨年まとめた19事務年度の相続税の税務調査実績によれば、海外資産への調査は1年間で1008件行われ、77億円の申告漏れが見つかった。内訳をみてみると、調査件数は前年から2割弱も減ったが、非違

を指摘された件数は149件で

過去最高を記録した。1件当たりの申告漏れ課税価額でみても4064万円から5193万円へと3割近くも増えている。

こうした当局の活動の中核を担っているのが、一定以上の資産を持つ富裕層に特化して海外資産の把握や税務調査を行う「富裕層プロジェクトチーム」だ。発足当初は富裕層が多く住む東京・大阪・名古屋の3国税局にしか設置されていなかったが、17年からは全国の国税局に設置され、富裕層の資産に関する情報分析、調査を担当している。

実際に19事務年度には、大阪国税局管内のプロジェクトチームが関西屈指の高級住宅街である兵庫・芦屋に狙いを定めて集中的に調査を実施し、計約45億円の申告漏れを指摘していたことが明らかとなった。CRSで得た情報や各種調書、申告などのデータを総合して分析し、海外に置かれた相続財産や海外銀行から得た配当などを突き止め、56人の富裕層に追徴税額を課したという。プロジェクトチームが調査対象とする基準は非公開だが、保有する金融資産が1億円以上の納税者はターゲットにされるとも言われている。だが20事務年度からはCRSが残高1億円未満の口座も情報交換の対象としたことから、その調査対象がより広がる可能性は否定できない。

近年になって急激に進んだ情報交換制度の整備によって、いまや富裕層の海外資産の情報は当局に「ガラス張り」の状態となっていると言わざるを得ない。「黙っていたらバレない」という考えは捨て、状況の変化に応じて賢く立ち回りたい。

コロナ禍でも人気のある クリニックの特徴



長引くコロナ禍の中、クリニックの患者数に差が生まれ始めています。コロナ禍で大きく患者数を減らし、なかなか元に戻らないクリニックもあれば、コロナ禍でも患者数はあまり変わらない人気のクリニックもあります。コロナ禍で人気のクリニックは、どんな特徴があるのでしょうか。

コロナ禍はクリニックの人気要因にいくつかの変化をもたらしています。かつては、患者数と立地に大きな相関関係がありました。通常、開業前に診療圏分析を行い、地域の人口や対象年齢層、競合となるクリニック数の関係から、ある程度、獲得可能性のある患者数を計算して開業場所を決めてきました。ここには場所さえよければ、クリニックの開業は成功するという方程式が成り立っていました。

しかし、この関係はあくまで通常の状態での話であり、コロナ禍のような異常事態では、この方程式は当てはまりません。コロナ禍で起きた変化に合わせて考える必要があるのです。新しい生活様式や、ニューノマルと呼ばれる新しい状態に対応するための工夫がいま必要になっているのです。

受療スタイルの変化

コロナ禍では、患者の「受療スタイル」に大きな変化が見られます。その変化は、クリニックに「感染対策」と「利便性向上」を求めています。具体的には次のような変化が見られます。

- ①日ごろの感染対策により「季節性疾患」が減少した
 - ②事前に「ホームページ」を見て来院する患者が増えた
 - ③受診控えが進み「受診頻度」が減少した
 - ④待ち時間など混雑状況に敏感になった
- これらの変化にいち早く対応できたクリニックは、コロナ禍でも引き続き患者が変わらず多く来院しているのです。
- 慢性疾患の患者が多い、専門性が高い**
かぜやインフルエンザ

といった季節性疾患の比率が高かったクリニックでは、患者数に大幅な落ち込みが見られます。「発熱外来」など、新型コロナウイルスに対応することができたクリニックでは、逆に増えているところも見られます。

一方で、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病は、定期的に検査や診察が必要となります。このような慢性疾患の患者が多いクリニックでは、一時期に患者の減少はみられたものの、徐々に患者数が回復しています。現在はコロナ禍以前のレベルに戻っています。また、内視鏡専門や美容皮膚科、精神科など、専門に特化したクリニックも患者数が増えているようです。同じ診療科でも特徴のある専門性を打ち出すことが可能であれば、患者は戻ってきているようです。

Web集患に力を入れている

ホームページのSEO対策やSNS（LINEなど）の活用を力を入れているクリニックは、クリニックの認知を得やすいので、患者数の減少が少なく済んでいます。長引くコロナ禍で患者がなかなか受診をしなかった時代は、クリニックに受診するための工夫、対策が必要になりま



す。しかし、いくら対策を行っても、患者に情報が届かなければ受診にはつながりません。定期的に情報発信を行うことで、患者へ安心感を提供できているのだと感じます。

患者が多くても待ち時間が少ない

患者の受診ハードルを下げるために、多くのクリニックでは「待ち時間の短縮」に取り組んでいます。かつてのように、「混んでいるから患者が待つのはしょうがない」という発想は、もう通じなくなっているのです。コロナ禍では、「混んでいる」という状況は待合室が「密」であるというイメージになり、患者が最も敬遠するクリニックとなってしまいました。感染リスクを嫌う患者はほとんど他のクリニックに移っていき

まいます。

現在のオペレーションの見直しを行い、「患者数が多くても待ち時間は少ない」ということを実現する必要があるのです。コロナ禍で、予約の取り方を「順番」から「時間」に変更したことで上手くいっているクリニックもあります。事前にWeb問診をしてもらうことで待ち時間が減少するケースもあります。とにかくにも、「待ち時間を短くして患者の安全を守る」と取り組んだ結果として、待ち時間の短縮が実現できているのです。それはまさしく、患者の信頼につながっているのです。

患者との関係づくりが最重要

コロナ禍では、患者とクリニックの関係にも大きな変化が見られます。コロナという非常事態では、患者との信頼関係がより問われます。このような時に強いクリニックは、「何かあったら真っ先に受診しよう」と考える「頼れるクリニック」に他なりません。これは政府が長年進めている「かかりつけ医」の考え方そのものです。新型コロナウイルスが政府の思惑を後押ししているのです。多くの患者から「わたしのかかりつけ医は〇〇先生です」と支持してもらえよう、患者との関係づくりが大切



なのです。

コロナ禍では、患者との信頼関係の構築にいち早く取り組む必要があります。今回紹介した「慢性疾患患者を集める」「専門性を打ち出す」「Webマーケティングに力を入れる」「待ち時間を短縮する」といった対策は、顧客である患者に対して、顧客は誰か、顧客にどのように伝えるか、顧客の利便性を向上させているか、という問いに対して回答した結果であると考えます。



MICTコンサルティング(株) 代表取締役 大西大輔

2001年一橋大学大学院MBAコース卒業後、医療経営コンサルティングファーム「日本経営グループ」入社。医療IT機器の展示場「メディプラザ」を設立。東京、大阪、福岡の3拠点を管理する統括マネージャーを経て、2016年にコンサルタントとして独立し、「MICTコンサルティング」を設立。過去2000件を超える医療機関へのシステム導入の実績から、医師会、保険医協会などの医療系の公的団体を中心に講演活動および執筆活動を行っている。





天然温泉
浴槽からの日の出は格別です！

いよいよベストシーズン到来！

本誌限定

ご優待宿泊プラン
好評ご予約受付中

さらに
練習ボール1コイン
(30球)を
お1人様1枚プレゼント！

クラブハウスコース側
合掌造りのクラブハウス。萱葺き屋根で重厚な雰囲気醸す。

レストラン
天井も高く高原リゾートに相応しい造り。テラスに出れば高原の四季を存分に感じられます。

練習場
300Yのドライビングレンジ(15打席)

ロジ客室
シングル64部屋完備・プライベートな時間をゆっくりお過ごしください。

■コースデータ

●開場日／1963年(昭和38年)8月10日 ●コース設計／富沢誠造 ●コースタイプ／丘陵 ●ホール数／18ホール6,675ヤード パー72

●グリーン／ベント1グリーン ●コースレート／71.5 ●練習場／ドライビングレンジ(300ヤード・15打席)、アプローチ&バンカー

■宿泊施設／ロジ75室(94名収容):シングルルーム64室、他にツインルーム7室、和室(4名様定員)4室完備、天然温泉

宿泊1ラウンドパックご優待プラン(お一人様ご料金) ※料金は税込です。

期 間	6/1～ 7/16		7/17～8/29		8/30～11/7		11/8～11/23	
プラン名	平 日	土日祝日	平 日	土日祝日	平 日	土日祝日	平 日	土日祝日
和食会席	16,900円	20,750円	18,650円	22,500円	16,900円	20,750円	16,750円	17,850円
洋食おすすめ								
牛すき鍋	18,000円	21,850円	19,750円	23,600円	18,000円	21,850円	17,850円	18,950円
牛しゃぶしゃぶ								

※料金は3～4名様1組でのお一人様セルフプレーの料金となります。料金には、グリーンフィ・カートフィ・諸経費・ゴルフ利用税・入湯税・連盟会費・宿泊費・食事代(3食／朝食・昼食・夕食)・消費税を含みます。

※キャディー付きは、お一人様 4バック 3,300円、3バック 4,400円 プラスとなります。

夕食プラン
内容



和食会席



洋食おすすめ



牛すき鍋



牛しゃぶしゃぶ

【お知らせ】 当クラブでは、新型コロナウイルス感染の予防対策をできる限り行っております。プレー時、クラブハウス・ロジなどのご利用時の留意事項につきましては、ご予約の際にご案内申し上げます。



白河高原カントリークラブ

福島県西白河郡西郷村真船字欠入1番地

皆さまのお越しを、スタッフ一同お待ちしております。

TEL0248-36-2211

<http://skcc.tatemono-golf.com/>